

2026年12月期 第2四半期 決算説明会

片倉工業株式会社

(コード：3001 東証スタンダード)

2026年8月28日

目次

1．2026年12月期 第2四半期 決算概要

連結損益計算書

連結損益計算書 / セグメント別実績

連結貸借対照表

連結キャッシュ・フロー計算書

2．セグメント毎の重点課題

不動産事業について

医薬品事業について

機械関連事業について

繊維事業について

M&Aを通じた成長への取り組み

3．持続的な成長を支える経営基盤の整備

人材育成基盤の強化

4．通期業績予想ならびに株主還元について

通期業績予想

株主還元（利益配分）

1 . 2026年12月期 第2 四半期 決算概要

連結損益計算書

2026.12 2Q 決算説明会

(単位：百万円)	2026.1-6実績	2025.1-6実績	前期増減	2026.1-6予想	予想との差異
	A	B	A-B	C	A-C
売上高	20,834	20,755	79	20,800	34
営業利益	3,747	3,156	591	2,700	1,047
営業利益率	18.0%	15.2%	2.8pt	13.0%	5.0pt
経常利益	4,523	3,870	653	3,400	1,123
特別利益	2,971	1,250	1,721	-	-
法人税等	2,105	1,546	559	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	5,371	3,538	1,833	4,600	771



■ 前期対比

【売上高・営業利益】

- 増収・増益（詳細は次ページ）

【特別利益】

- 投資有価証券売却益 + 2,971M（前期0M→当期2,971M）
当期：ヒューリック㈱株式売却 2,971M
- 固定資産売却益 ▲1,250M（前期1,250M→当期0M）
前期：機械関連事業における借地権売却813M
旧加須工場建物売却等389M

■ 予想対比

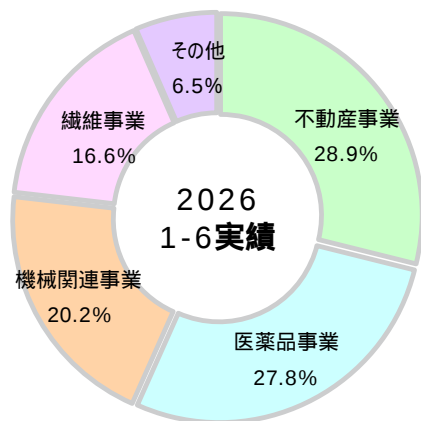
- 売上高は、繊維事業・医薬品事業・不動産事業で予想を上回る。
- 営業利益は、不動産事業で上期に予定していた修繕費の一部が第3四半期以降にずれ込んだことにより予想を上回る。

連結損益計算書 / セグメント別実績

2026.12 2Q 決算説明会

(単位：百万円)		2026.1-6実績		2025.1-6実績		前期増減	
		A		B		A-B	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
	不動産事業	6,019	2,545	5,678	2,152	341	393
	医薬品事業	5,786	454	5,587	447	199	7
	機械関連事業	4,197	557	4,774	641	▲ 577	▲ 84
	繊維事業	3,467	580	3,334	332	133	248
	その他	1,364	73	1,380	82	▲ 16	▲ 9
	調整額	-	▲ 463	-	▲ 499	-	36
合計		20,834	3,747	20,755	3,156	79	591

セグメント別売上高構成比



：不動産で増収・増益

- ・ ショッピングセンター「コクーンシティ」でテナントからの賃料収入増加により増収
- ・ 増収に加え、上期に実施を予定していた修繕費の一部期ズレにより増益

：医薬品で増収・増益

- ・ 2025年12月に発売した「トルバプタンOD錠3.75mg」および「ペブリジル塩酸塩錠」の販売伸長により増収
- ・ 増収に加え、販売費および一般管理費の減少等により増益

：機械関連で減収・減益

- ・ シャシのモデルチェンジの影響による生産・販売時期のずれ込みにより減収・減益

：繊維で増収・増益

- ・ 機能性繊維事業で耐熱性繊維等の販売が堅調に推移したことにより増収・増益

：その他で減収・減益

- ・ 印刷紙器の販売減等により減収・減益

連結貸借対照表

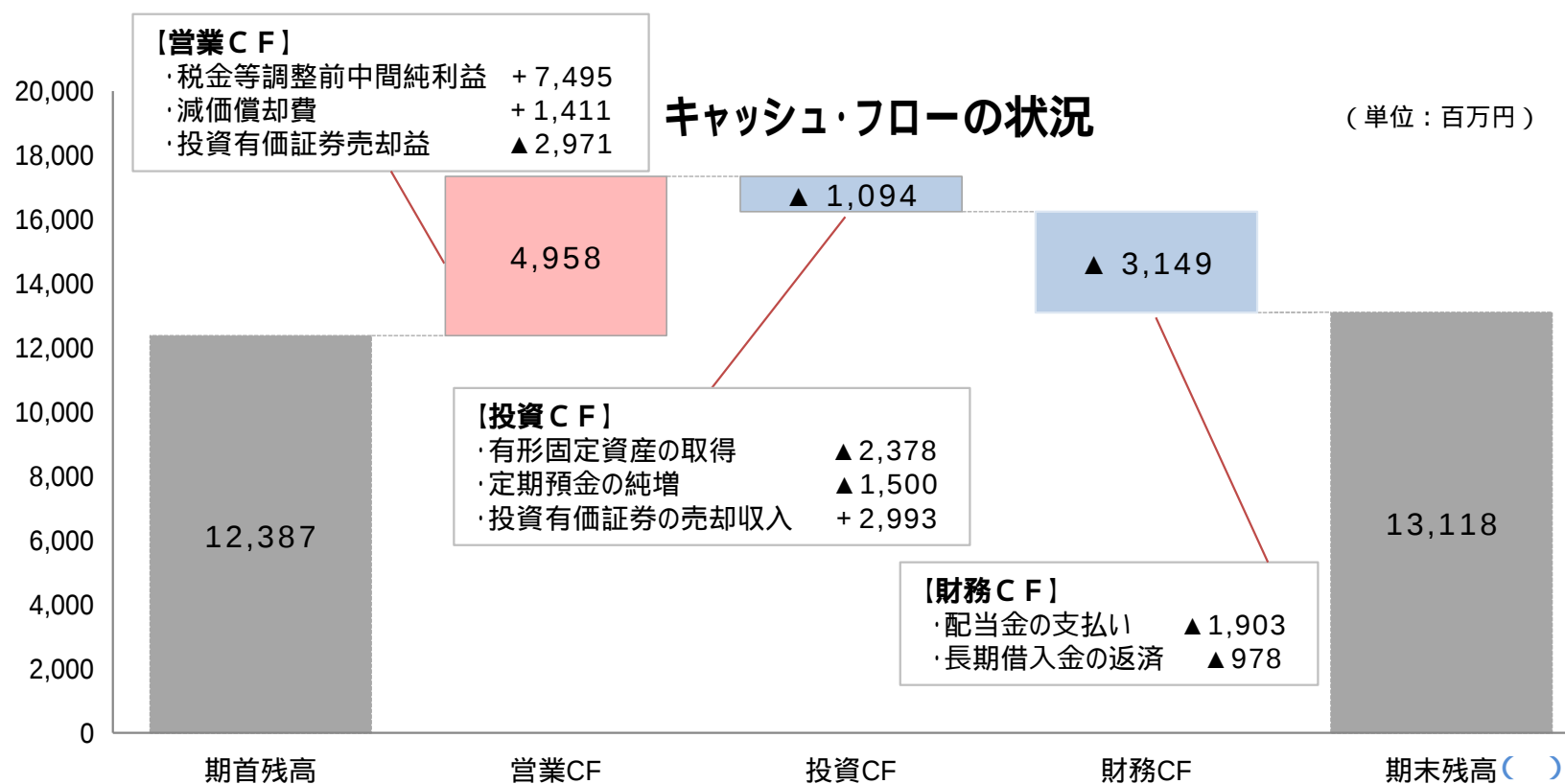
(単位：百万円)		2026.6	2025.12	前期増減	
		A	B	A-B	
流動資産		58,608	58,526	82	
	現金及び預金	33,800	31,491	2,309	
	受取手形及び売掛金	6,192	8,105	▲ 1,913	回収による減
固定資産		93,744	94,523	▲ 779	
資産合計		152,352	153,049	▲ 697	ヒューリック(株)株式売却等による減
負債合計		50,311	53,287	▲ 2,976	
	借入金	6,629	7,679	▲ 1,050	約定弁済による減
	繰延税金負債	14,956	15,538	▲ 582	
純資産合計		102,040	99,761	2,279	
	利益剰余金	62,825	59,307	3,518	中間純利益計上による増
	其他有価証券評価差額金	20,838	22,027	▲ 1,189	
負債・純資産合計		152,352	153,049	▲ 697	

連結キャッシュ・フロー計算書

2026.12 2Q 決算説明会

(単位：百万円)		2026.1-6実績	2025.1-6実績
現金及び現金同等物の期首残高		12,387	9,214
営業活動によるキャッシュ・フロー		4,958	5,071
投資活動によるキャッシュ・フロー		▲ 1,094	802
財務活動によるキャッシュ・フロー		▲ 3,149	▲ 4,302
現金及び現金同等物の増減額		730()	1,571
現金及び現金同等物の期末残高		13,118()	10,786

()：非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額16Mを含む



2 . セグメント毎の重点課題

不動産事業について

■ 業況について

コクーンシティ

- ・さいたまスーパーアリーナ休業も、テナント入替や集客イベント等の館内施策により、テナント売上高は計画を上回る
- ・テナントおよびエリア内一括賃貸先からの賃料収入の増加により、増収・増益
- ・上期に実施予定であった修繕の一部が第3四半期以降にずれ込む

その他不動産

- ・旧加須工場の土地賃貸（2025年7月賃貸開始）の通年寄与

■ 今後の取り組みについて

コクーンシティおよび周辺エリア

- ・戦略的なテナント入替と設備投資による競争力強化を継続
- ・賃貸マンション開発計画「(仮称)さいたま市大宮区天沼町2丁目計画」を着実に推進
(2027年10月入居開始予定、総戸数111戸)

不動産事業全般

- ・BCP・危機管理対応を強化
- ・ライフサイクルや収益性を踏まえた計画的な設備投資
- ・コスト上昇への対応



医薬品事業について

■ 業況について

薬価改定による販売単価の低下は継続するものの、「トルバプタンOD錠3.75mg」（心不全治療薬）、
「ベプリジル塩酸塩錠」（不整脈・狭心症治療薬）の販売増、およびメトホルミンの
販売単価上昇等により、増収を確保
販売費および一般管理費の減少により増益
「エルロンボパグ錠」（血小板減少症治療薬）を2026年6月に発売

■ 今後の取り組みについて

主力製品の販売強化

- 「トルバプタンOD錠3.75mg」（心不全治療薬）：
2026年8月に製造販売承認を取得した「トルバプタンOD錠30mg」を含む他規格とともに
販売拡大に向けた取り組み継続

販売提携による販売チャネルの拡大

- 「エルロンボパグ錠」（血小板減少症治療薬）[2026年6月発売]：
医療機関への情報提供を通じ、シェアの拡大を目指す

他社との共同開発によるジェネリック開発パイプラインの拡充

海外展開への取り組み

- 「ビソノ®テープ」（経皮吸収型・β1遮断剤）：中国展開



機械関連事業について

■ 業況について

シャシ在庫遅延による生産・販売時期のズレが発生した一方、高収益案件で一定の利益水準を確保

法規制対応に伴うモデルチェンジの影響により、一部シャシの在庫遅延が発生

生産・販売時期の後ろ倒しにより、減収・減益

一方、大口受注や大規模修理案件の寄与により、利益水準を確保

納車時期の前後やコスト上昇に対応し、通期では計画水準の売上・利益を見込む

上期からの期ズレ案件や来期案件の前倒しにより、一定の売上を確保

原材料価格等のコスト上昇影響に対し、生産効率向上の取り組みにより収益性の維持に努める

■ 今後の取り組みについて

設計・製造工数の削減を中心としたコスト低減への取り組みを継続

マギルス社製車両に関する取り組み推進

・ メンテナンス等の既存車両向けサービスは、概ね計画どおりに進捗

・ 2026年5月に初の新車案件を落札（2028年納車予定）

・ 安定的なメンテナンスサービスの提供と、新規受注に向けた生産体制整備を推進



繊維事業について

■ 機能性繊維事業について（株）ニチビ

■ 業況について

耐熱性繊維では、半導体製造用途でAI・データセンター向けの需要拡大により、好調推移

また、金属製造用途は、欧州市場で精密鑄造分野の新規開拓が進展し伸長

新製品「アルセロン」は、新規採用に向けた営業活動を継続中

水溶性繊維では、人工皮革用途および高級タオル用途が低調推移も、

ニット用途の大口スポット受注により、概ね計画どおりに着地

■ 今後の取り組みについて

海外展開では、欧州市場を中心とした新規取引先開拓に注力

需要拡大に対応するため、安定供給体制の構築を推進

新焼成炉は年内に本格稼働予定



耐熱リング（耐熱性繊維・半導体製造用途）

■ 実用衣料事業について（オグランジャパン株）

機能性インナーの販売減および商品ラインナップの見直しにより減収も、収益性は改善傾向

下期は為替・金利変動や原油高等のコスト増加要因が見込まれるものの、

収益性改善に向けた取り組みを継続

ECチャネルでは、2026年5月に楽天市場へ新規出店

商品拡充や販売促進活動に取り組む



M & Aを通じた成長への取り組み

2026.12 2Q 決算説明会

■ 基本的な運営方針

買収企業の価値最大化に向けた取り組み

- 各社の強みを活かし、当社グループの基盤・知見を通じてさらなる企業価値向上を図る

グループ企業としての基盤整備およびシナジー促進

- グループ共通のルール・管理体制のもと、既存事業との連携とシナジー創出を推進

(株)ガーデンエクスプレス（植栽事業）

事業の安定化とサービス品質向上に向けた取り組み

直営店では、顧客接点強化施策でリピート率が向上
継続して注力する

販売代理店は、既存店の活性化に取り組む

法人向けの高付加価値

サービスの拡充



AI（ChatGPT）が生成したイメージ画像

(株)カタクラ・クロステクノロジー（IT事業）

付加価値向上とグループ機能強化に向けた取り組み

既存事業の受注体制安定化

AI技術の発展を踏まえた新たな事業領域の探索

グループ内システム開発で培った技術力を基に

専門領域の確立を目指す

グループ内DXの推進



AI（ChatGPT）が生成したイメージ画像

3 . 持続的な成長を支える経営基盤の整備

持続的な成長を支える経営基盤の整備

2026.12 2Q 決算説明会

ガバナンス



- 取締役会の実効性向上
- グループ経営管理
- 内部統制

リスク管理



- 統合的なリスク管理
- コンプライアンス
- BCP・危機管理
- 環境・社会課題への対応

DX・IT基盤



- ITガバナンス
- DX・生成AI活用
- 情報セキュリティ

人的資本



- 人材確保
- 人材育成・キャリア形成
- 人材配置・交流

組織・職場環境



- 人事制度
- 柔軟な勤務・休暇制度
- 心身の健康・職場環境

各領域の取り組みを通じて、持続的な成長を支える経営基盤を強化

人材育成基盤の強化

主な研修

グループ共通 - 共通テーマ別研修

- ガバナンス関連研修

- ▶ 役員向け研修
- ▶ 内部統制研修

時事テーマ / サイバーセキュリティ
個人情報保護 / 競争規制
インサイダー取引 / ハラスメント...等

- グループ合同研修

- 生成AI活用研修

- メンタルヘルス研修

- 防災研修

当社 - 階層・目的別研修

- 企業理念研修

- 役員研修

- 階層別研修（新入社員～管理職層）

- ▶ 等級別クラス研修
- ▶ 選択式スキルアップ研修

- 資産形成・ライフプラン研修

- 専門研修

- ▶ 各部門の業務に応じた専門知識・スキル

▼ Pick up

グループ合同研修



体系的な研修機会の創出を通じて、グループガバナンス強化・人材育成を推進

4 . 通期業績予想ならびに株主還元について

通期業績予想

2026.12 2Q 決算説明会

(単位：百万円)	当初予想	5/22修正予想	8/12修正予想
売上高	41,100	41,100	41,100
営業利益	5,500	5,500	5,800
営業利益率	13.4%	13.4%	14.1%
経常利益	6,900	6,900	7,200
親会社株主に帰属する当期純利益	5,200	7,250	7,450

補足事項

- 2026年12月期の通期業績予想は、2026年5月22日開示のとおり、ヒューリック(株)株式売却による投資有価証券売却益の計上を踏まえ、親会社株主に帰属する当期純利益の上方修正を実施。
- その後、2026年8月12日開示のとおり、上期実績を踏まえ、営業利益以下の各段階利益の上方修正を実施。

株主還元（利益配分）

< 株主還元方針 >

利益の配分については、安定的な配当の実施に努めるとともに、資本効率の向上等を目的として適宜機動的な自己株式取得を実施することとしております。総還元性向については、特殊要因()を除き、親会社株主に帰属する当期純利益の60％程度を目安として、利益還元に努めてまいります。

()：一時的な損失や利益計上により、当期純利益が大きく変動する場合を想定しております。

■ 直近実績と当期見込

	FY2026(予想)	FY2025	FY2024(参考)
1株当たり配当金	60円	60円	50円
配当総額	—	1,908百万円	1,623百万円
自己株式取得額	(注1)	1,443百万円	1,301百万円
総還元性向	—	(注2) 76.7%	83.0%

(注1)適宜検討を実施。

(注2)一時的な損失や利益計上による特殊要因を除く。